

# リトアニア 事前キャンプ決定

## ～東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会～



ヴィタリウス・ヴァシリウスカス リトアニア  
オリンピック委員会財務担当局長

落合 克宏 平塚市長

左) エギディウス・メイレーナス  
駐日リトアニア共和国特命全権大使

黒岩 祐治 神奈川県知事

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプについて、10月28日にリトアニア共和国オリンピック委員会と神奈川県、平塚市の三者で協定を締結しました。

昨年11月に神奈川県との連携により、駐日リトアニア大使の本市視察が実現し、リトアニア共和国の事前キャンプ誘致を進めることになりました。本年1月にはホストタウンの登録を受けたことにより、「リトアニア展」の開催による周知活動や農業・経済関係の視察の受入れ等の交流を進めてきました。

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック後の9月には市職員がリトアニアを訪れ、事前キャンプに係る事前協議を実施し、協定締結につなげました。

【事前キャンプ締結に係る平塚市記者発表資料】

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/press/pres20160155.htm>

【協定締結式の神奈川県の記事】

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f535583/>



ホストタウンとは、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体をいいます。

事前キャンプ締結を記念して行われたレセプションでの鏡開きの様子  
七夕太鼓での歓迎などで交流を深めました。



レセプションの中で、

東京 2020 オリンピック・パラリンピックでのリトアニア共和国選手団の活躍、両国間のスポーツや文化、経済交流の発展、未永い友好関係を祈念してリトアニアの国旗カラーに彩られた「だるま」に目を描きいれました。

だるまの肩の祈願文字として、向かって右には「必勝」左には「友好」の文字が刻まれています。

ホストタウンとして、様々な交流事業を展開していきますので、皆様のご協力をお願いします。



### 【リトアニア共和国とは】

北欧のバルト海東岸に位置するバルト三国の一番南の国

◎面積 6.5万平方キロメートル  
(北海道の約80%)

◎人口 291.6万人  
(2015年3月リトアニア統計局)

◎首都 ヴィリニウス(人口約54万人)  
(2014年リトアニア統計局)

◎公用語 リトアニア語

◎盛んなスポーツ バasketボール、水泳、柔道、近代五種等

※リオデジャネイロオリンピックでは、ボート、カヌー、ウエートリフティング競技で、銀1、銅3のメダルを獲得



H28.4 リトアニア五輪委員会代表団の視察

本年 4 月にリトアニア五輪委員会代表団が市内スポーツ施設や市内にキャンパスのある東海大学を視察し、施設の充実度や東京との距離などが評価され事前キャンプ地に決定しました。

キャンプには 100 名程度の選手・スタッフが訪れることが想定され、競技種目や施設の利用について今後 3 者で調整されます。

W 杯サッカーでのナイジェリアチームのキャンプ経験を生かし、市民や企業、団体、県とも協力しながらリトアニアとの交流が深められるよう「おもてなし」の準備を進めていきます。